医薬品評価科学レギュラーコース (Regular Course, RC)プログラム Course number: 2016-RC12

(※内容・講師については変更になることもございます。)

●日 時:2016年5月16日(月) ~ 11月7日(月) 18:00-21:00

●場 所:東京大学薬学部総合研究棟2F 講堂(東京都文京区本郷7-3-1)

●問合せ先: 医薬品評価科学講座 RC事務局 Tel: 03-5800-6988 Fax: 03-5800-6949 E-mail: prstokyo@mol.f.u-tokyo.ac.jp *詳細については担当者(岡嶋・河井)宛にお問合せ下さい。

No.	月日	演題名(仮題)	講師名	<u> </u>	所属
		受講にあたっての心構え(15分)	小野	俊介	東京大学大学院薬学系研究科
RC12-01	5月16日	日本の医療制度と医薬品評価概要	藤原	康弘	東京大学大学院薬学系研究科/国立がん研究センター中央病院
RC12-02	5月23日	ファーマコゲノミクスと臨床試験	越前	宏俊	明治薬科大学
		再生医療製品開発の現状と課題	畠 賢	一郎	㈱ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
RC12-03	5月30日	医薬品の毒性評価	篠田		医薬品医療機器総合機構
		医薬品の品質・審査の考え方	奥田	晴宏	国立医薬品食品衛生研究所
RC12-04	6月6日	臨床評価・臨床薬理学の考え方(1)	熊谷	雄治	北里大学病院
RC12-05	· ·	医薬品の新薬開発における品質・製造評価	安藤	秀一	第一三共㈱
RC12-06	6月20日	医薬品開発のためのバイオテクノロジー	田中	裕	中外製薬㈱
		グループディスカッション(30分)			
RC12-07		医薬品の薬物動態学的評価/医薬品のバイオアベイラ	緒方	完素	明治薬科大学名誉教授
		ビリティと生物学同等性試験	が日ノノ	丛	切伯架件八子有言教汉
		グループディスカッション(30分)	/		
RC12-08	7月4日	医薬品開発初期段階のPET分子イメージング活用	矢野	恒夫	大阪大学大学院医学系研究科
		ディスカッション成果発表			
RC12-09	7月11日	ディスカッション成果発表			
RC12-10	7月25日	ディスカッション総括 (15分)			
		臨床試験、新薬開発のグローバル化と生産性向上の意義、 そのために今我々は何を考え、どう行動すべきか	杉井	寛	ノボノルディスクファーマ(株)
RC12-11	8月1日	ファーファストリカフ輝部	笠井	英史	サターラ合同会社
		薬価制度とヘルステクノロジーアセスメント	福田		国立保健医療科学院
RC12-12	8月8日	我が国におけるメディカル組織の現状と将来	高橋		グラクソ・スミスクライン(株)
		臨床評価・臨床薬理学の考え方(2)	内田	英二	昭和大学
RC12-13	8月22日	被験者保護•補償制度	鍋岡	勇造	中外製薬㈱
		バイオ医薬品の開発・評価	荒戸	照世	北海道大学大学院医学研究科
RC12-14	8月29日	臨床試験結果の解析(1)	越水		アステラス・アムジェン・バイオファーマ(株)
		臨床試験結果の解析(2)	渡邉	裕之	㈱エルデータサイエンス
RC12-15	9月5日	医薬品評価の現在と将来	鹿野	真弓	医薬品医療機器総合機構
		治験・臨床試験の現場と製薬企業の関係:現状と課題	花岡	英紀	千葉大学医学部附属病院
RC12-16	9月12日	開発から市販後までの医薬品安全管理	Stewa	rt Geary	エーザイ㈱
		医薬品開発と評価の国際的な動き	中村	龍太	医薬品医療機器総合機構
RC12-17	9月26日	循環器系の薬効評価・医療機器分野の進展		一洋	順天堂大学医学部
		グループディスカッション (30分)			
RC12-18	10月3日	医薬旦問窓の新しい古法診し獣蚊	小宮口	山 靖	ファイザー(株)
		グループディスカッション (30分)			
RC12-19	10月17日	薬剤疫学研究のデザイン	浜田	知久馬	東京理科大学工学部
		ディスカッション成果発表			
RC12-20	10月24日	ディスカッション成果発表			
		ディスカッション総括 (15分)			
RC12-21	10月31日			1 1-	
		医薬品評価・承認審査の意思決定	柴田	大朗	国立がん研究センター研究支援センター
RC12-22	11月/日	抗がん剤領域の薬効評価	藤原	康弘	東京大学大学院薬学系研究科/国立が
			<u> </u>	-	ん研究センター中央病院
		修了式			